

令和6年度 練馬区立学校の適正規模・適正配置検討委員会（第2回）	
開催日時	令和6年9月13日（金）14時～16時
開催場所	練馬区役所本庁舎19階 1901会議室
出席委員	12名
欠席委員	なし
次 第	1 開 会 2 委員委嘱 3 委員紹介 4 案 件 (1) 適正配置候補校の検討経過について (2) その他
■ 要点記録	
(1) 適正配置候補校の検討経過について	
事務局	(資料説明)
佐川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年度に策定した「第二次区立小・中学校および区立幼稚園の適正配置基本方針」に基づき、適正配置の対象となる学校について検討を行った結果をまとめたということである。</li> <li>○ 資料について質問等はあるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第二次適正配置基本方針で示した選定フローに基づいて整理されており、非常に納得できる内容だと感じる一方、公表後の地域の反応には懸念がある。</li> <li>○ 平成28年度からこれまで慎重に議論を重ねてきたのだから、ぜひ検討内容の全てを公表していただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施計画では、抽出した候補校や検討内容を掲載する予定であるが、見せ方は今後検討していく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 統合後の通学路について、道路の横断に配慮したとの説明があったが、当該地域の道路が危険ということか、単に大きな道路が危険ということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歩道橋などがあれば必ずしも危険ということではないが、統合した結果、これまで横断の必要がなかった大きな道路を渡って通学しなければいけなくなることに配慮したということである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大きい道路はガードレールなどが整備されているため、車通りが多く狭い道に比べ安全だと感じる。</li> <li>○ 石神井南中は長寿命化改修中とのことだが、改修前に適正配置の議論はあったのか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 石神井南中を統合する場合の受け入れ候補校は南が丘中だが、現時点で統合すると過大規模になる。20年後は子どもの数が減り適正規模を確保できる見込みのため、長寿命化改修のうえ概ね20年後の改築の時期に再検討するという評価を改築前に行った。</li> <li>○ 昨年度に適正配置の考え方を示し、今年度に対象校の検討を行っているが、石神井南中は長寿命化の時期が先に来てしまったということはある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都推計とビジョン推計には差があるようだが、どのように算出されているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京都は推計の算出方法を明らかにしていないが、住民記録台帳の子どもの数等を考慮していると聞いている。</li> <li>○ ビジョン推計は、過去5年間の出生率、死亡率、転出入などを掛け合わせてエリアごとに算出している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 推計を数年後に確認すると、結果的に近いところもあれば乖離しているところもあり、どの推計でも限界はある。</li> </ul>
佐川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1つの推計で判断するのは危険であり、ビジョン推計に加えて都推計を考慮して慎重に判断した方が良いと思う。</li> <li>○ 選定の仕方や流れで疑問などあれば伺いたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 光が丘第八小は統合するという結果だが、時期がかなり先になるのはなぜか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 光が丘第八小の統合先の候補である田柄小は、改築をしなければ他校を受け入れることができない。設計から改築まで6年ほどかかるため、令和10年度には設計を始めなければならない。</li> <li>○ 次回の実施計画の策定は令和10年度を予定しているが、そのときの公表では地域の方への周知期間を考えると設計開始に間に合わないため、今回の実施計画で区の方針を明らかにし、時間をかけて進めていきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 田柄小の改築時期は決まっているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 決まっていないが、校舎の古い学校順に改築していくと想定すると、令和16年～18年度に完成となる見込みである。</li> <li>○ 現在も将来も人数が最も少ない豊溪中を対象校としているので、小学校についても方向性を示す必要があること、次回の計画策定時では設計着手に間に合わないことから今回のタイミングで公表するということである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童数が年々減る中、統合実施までの年数が長いと、教員の配置や学校運営などの問題が増えてしまうのではないかと懸念されている。統合されると決まった学校をいつまでも残すというのは疑問である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 光が丘第一中は現校舎で豊溪中の生徒を受け入れることができるため早期に統合できるが、田柄小は建て替えなければ光が丘第八小の児童を受け入れることができないため、改築を待つ必要があるということである。</li> </ul>

委員	○ なぜ今回公表する必要があるか実施計画でも説明があると良い。
委員	○ 中学生の通学可能な距離を2 km程度としているが、タブレットや部活動の荷物などを持って通学するには遠い。 ○ 再登校の実施も難しくなるため、支援員を頼んで自習させるなどの対応も考えなければならない。 ○ また、教室の規格が小さく、ロッカーに荷物が入りきらない問題もあり、置いて帰っていいとすることもできない状況である。改築する際の教室の大きさも検討してほしい。
事務局	○ 光が丘第一中については現校舎で統合予定のため、すぐに教室を大きくすることは難しいが、改築時に検討させていただく。
事務局	○ これから改築する学校は、現在と比べ教室も広く、タブレットを使用することから机も大きくなっている。ロッカーについては、展示スペースとの兼ね合いもあるため、各学校と相談し進めていく。
委員	○ よく分析され、客観的にまとめられていると思うが、やはり地域の方は自分の学校がなくなってしまうという反対の意識が強い。 ○ しかし、過小規模校の解消も急務であり、今回は対象外となった学校についても長期的に見ていかなければならない。 ○ これまで主に過大規模の軽減のために行われていた、近隣の学校への入学を促す児童の誘導も統合・再編と並行して行い、安定的な学校運営をしていく必要がある。
委員	○ かつて統合を経験した教職員に、統合後はやや混乱したという話を聞いた。短期的に統合を進めるよりも、今回のように長い時間をかけて、丁寧な説明を行っていくことが必要だと感じる。
委員	○ 早いうちに公表することは賛成するが、実際に統合の対象となる人に情報が届くようにしていただきたい。説明会を開いてもその時点で興味のある人しか来ないため、保護者が学校名を検索したときに情報が取得できるような方法を考えてほしい。 ○ 今は子どもも上手に検索できるが、内容が難しいと理解ができない。本日の資料のようなものや短い動画など、誰にでもわかりやすい情報を発信してほしい。
事務局	○ 周知の内容や方法については、わかりやすいものとなるよう検討していく。
佐川委員長	○ 次回はこれまでの検討内容を答申としてまとめさせていただく。